京城新報

●商業上より觀たる在韓外國人（一）

▲就中日本人と韓國人との關係

第一項　輸出品に關する事項

韓國の產業は主として農業にして鑛業漁業等之に亞ぐも尙は幼稚にして製造工業の如きに至ては殆ど見るに足るものなし從て輸出貨物も主として天然貨物にして加工製造品に至ては目下止むを得ざる處とす今是等主たる輸出貨物に就き外國人と韓人との關係を略述するに左の如し

一、米穀

（イ）仁川に本品の回輸せらるゝものは南は全羅忠淸の兩道北は黃海道平安道二道の產にして收穫後先づ各產地に於ける韓仲買人の手に買集せらるゝを普通とし農夫の直接回送販賣を試るものなし而して地方仲買人を回送方法は之を鐵路に托し又は沿岸韓船に依ることにして開港到着後は韓人客主即ち問受問屋に賴り其販賣を求むるを例とす尤も大豆は其產出期に當り日本商人にして往々店員を產地に派し買入を爲すものなきに非るも之を居留地に買入るゝものに比し暴覺損失を免れずとし買出に努むるもの〻如し而して貨物の依托を受たる客主は更に農業社員に（韓商人にして常に日本輸出商を以て組織したる仁川穀物協會に出入し日韓兩商間の取引媒介を業とするもの）の手を經て日本商人と商談を試み賣買整ふや仲買人、客主、日本商等立會の上貨物を斗量し授受を行ひ日本商は直ちに之を日本より輸入したる叺に入れ更に自己の商號を押捺して引取を了す代金の仕拂は日本商人は概ね其買入たる米穀を銀行會社又は回漕業者の倉庫に搬入し倉荷證劵を以て取引銀行に割引を請ひ而して韓商に對しては貨物授受の翌日代金の仕拂を爲すを普通とするが如し

次に韓國の客主は前述の如く獨り開港に在て韓商と外商の取引を媒介するのみならず各地方に於ても殆ど客主の存在を見ざる處なく即ち地方客主と居留地に於ける客主との異差は前者は主として韓人間の仲立人たるに反し後者は地方客主と居留地外商との取引を媒介するの點に存し而して客主は賣買毎に一定の手數料を請求し又た自己の店舖に居間と稱する一種の番頭を雇傭し置き主として日語の通辯其他の斡旋に當らしむるものあり

（ロ）釜山地方に在て米穀買出の方法は韓人自ら居留地に運搬し來るものと日本商人にして親しく產地に就き買入運搬し來るものとの二種あり金錢の授受に關しても賣買成立後現金仕拂のものあり又た對人の信用に基き千圓若くは二千圓を豫め耕作者間に貸付け以て收穫後米穀を他に放賣せしめざるを期するものあり京釜鐵道沿線の淸道、慶山、密陽の如き後者に依るの慣習なりと而して現金取引の場合に在ても米穀の買入は零碎なる韓農民の耕作を地方仲買人の手にて買集めて一集團と爲し逐荷するを以て地方に於ける代金の仕拂は分割の便宜上主として葉錢を使用する場合多きも斯りたる取引に往々[illegible]の授受せらるゝ場合あり如此にして各地に買集められたる米穀は其地に於て五斗俵に仕製られ釜山に運搬せらるゝことなるも而も韓國の米穀は一般に收穫方法の不完全なる爲め土砂の混合多く品位を損すること尠からざるに依り更に釜山に於て解俵し席上に展開して混同を除去するの手數を要せざるべからず

（ハ）鎭南浦に在ては出廻り米穀は主として黃海道及平安道の產出に係り收穫期に至れば韓人及日本商人產地に出張し買收の豫約を爲し其年及び翌年夏期迄に漸次韓船に依り沿海地方より若は大同江の支流を下て本江に入り水路鎭南浦に回送せしむること多く此場合に於ては代金の如きも收穫前に耕作者に貸付を爲し產地に於て貨物の授受を爲すを例とするも又一面に於ては此の如く日本商人の出張買收を待たずして韓人自ら運搬して[illegible]に至るものあり此場合は必ず客主に其販賣を委托するの習慣にして商談纏るの間米穀は便宜上之を船會社の倉庫に委托することあり此場合に在て倉敷料は年箇月又は一箇月の取極なるに依り月の央又は月末に迫り更に數料の負擔を要すべきに遭へば商談容易に纏るを例とすと云ふ

（ニ）北韓の地は由來多く米を產出せずして其主產物は大豆なりとす而も其品質佳良にして專ら輸出の目的に依り耕作せらる今元山港に於ける狀況を記述すれば日本商は收穫期又は出廻期に際し韓人客主を通じて資金を耕作者に前貸せしめ又は資金を客主に前渡して買出の爲め產地に赴かしむ蓋し以前は日本商にして客主を經ずして直接に店員を產地に派し買出を試たることありしも近來は暴徒其他の理由に依り漸く廢止せらるゝに至れり而して日本商人より買出の注文を受たる客主は其店員たる韓人を各地に向はしめ期日を定て賣買を締約し來らしむ期日に至れば賣主は現物を搬送し來るに依り客主は直ちに之を曩に受託したる日本商人の店舖に齎し茲に雙方立會の上品質量目を檢し始て授受を了り代金の仕拂を爲すを普通とす

俳句

春十句　千春

韓帝の齒磨うるはしき春日かな

默然と殊し燒野の地藏尊

春風や韓女衣干す小砂原

流氷は小島に着きて春寒し

茶目吉に追はれて雀巣立ちけり

紅梅や官妓靜かに舞ひ納む

賽みけり鎭守の森の朝神樂

なき合ふて居るや戀猫最台船

鍬一つ立てかけてあり桃の家

雲雀落ちて馬子歌南に這入けり

●新刊紹介●

▲東京經濟雜誌　新年に入つてより活躍の跡益々現はれ重要記事としては「陸曆年末韓國の紛擾如何」「臺灣關稅收入の國庫編入」「電話[illegible]如何」等外十三種の多きに涉り就中黑澤和雄氏の「乘竹氏を吊す」の二文は氏を知ると知らざるとを問はず一讀暗涙の滂沱たるを覺ゆ（一四七五號一部十一錢東京々橋區彌左衞門町東京經濟雜誌社）

▲東洋時報　讀むべき記事多し中に就て中原貞三郎氏の「韓國の鐵路」伊藤氏の「日本內地殖民論」稻田氏の「北米合衆國の移民問題」等は其中出色の文字といふべし

▲實業の世界　編輯巧妙記事亦奇抜なり「先づ惡德重役を獄に投じて實業界廓淸の第一聲を揚げよ」といふ破天荒の記事を冒頭に其の他之に類する記事のみを以て賑はし居れり

▲外國貿易概況　隆熙二年中に於ける外國貿易概況を揭げたるもの取つて以つて參考となすに足るべし（關稅局）

▲韓國中央農會報　新年號丈に寫眞版記事共に豐富にして趣味あり中村農務局長の「韓國大豆の將來に就て」豐永農學博士の「窒素肥料」等は有益なる文字なり（三卷一號一部二十錢京城大和町韓國中央農會）

▲韓國貿易月報　昨年十二月中に於ける韓國貿易の狀況を揭げしもの附錄又參考となるべし（五號關稅局）



（百十六）　河合柳葉

「私も最初貴方ぢやあるまいと思ひましたけれど、螢雪亭だと聞きましたから、ひヨッとしたら貴方かも知れないと、案じながらも樂んで來ましたの……。」

小房は長次郎の側に寄つて火鉢に手を翳す、

「隨分寒いぢやないか新聞を見れば東京も大雪が降つたと記いてあるから、京都が寒いのは當然へではあるが。」

「眞個手やなんか懸然に冷たくなるんです、もの擬を持つにも持てないんですよ。」

と、長次郎の手に自分の掌を當てる、

「全然で氷柱のやうだね、まあ悠然溫めるが宜い。」

「でもまあ、一つた酌でも爲ませうよ。」

と、銚子を取上げて酌をする、長次郎はグッと飲干して、

「熱いのを一つ飲まないか、溫まるよ。」

「私まあ御酒よりも莨一服頂いて、それから頂きますわ。」

せ、帯の間から紙入を出して、莨を吸ひにかゝつたが、煙管に脂が出て居るので、ツト袂から紙を取り出した、すると何やら書いてあるので可怪いと思ひながら、擴げて見れば山川孤舟から雅秋へ宛てた書面であ、さては先刻松樂で自分が落したと思つて拾つたのは、若殿の手紙であつたかと、初て心注ぎ、

「私先刻松樂で、自分の袂から落したと思ふて拾つたら、惡戲手紙を拾つて來ましたわ。」

と、長次郎に見せた長次郎も何心なく手に取つて、

「隨分そゝかしい話だね。」

云ひつゝ擴げて讀み下すのであつた、

前略御免下され度候、其後屋敷の事情詳細御知らせ申べくの處日々實行のみ取急ぎ候まゝ遷延の段平に御免被下度候、就ては其後の狀況左に申上候間御一覽の上直樣火中遊ばされ度候

貴川萬恭を奸策の下に家令職を辭ひ暇を出し候事は前便申上候通りにて、其後は自宅に閉籠中居候

濟川の娘菊野と申すは、妹れ君が方策を回らし遂に大山と干係を生ぜしめ、今日にては全く手中の人と致し申候

後室三輪子は我々兄妹と大山と謀り或る些々たる事より發狂者と言ひ旛へ堅固なる座敷牢を造り、共中に押込め漸々食事も與へず餘程衰弱を來たし申候、此分にて押行けば本年中には自滅致す事と存じ候、猶又爲雅候は、此度れ君姪振養生のため根緒等の事の溫泉に赴き居候に附而時機を利用しある退濱を踏ひ、或はすに利を以てし四五日中に逆鱗を名として山中に連れ出し谷底に突き陷すか、銃殺するか、何れにしても愈々實行致し、[illegible]に付左樣御安心被下度候、

大山實行目的を果し候節は、大山と相談の上直にお迎への者差出し可申に付早速御上京被下度候

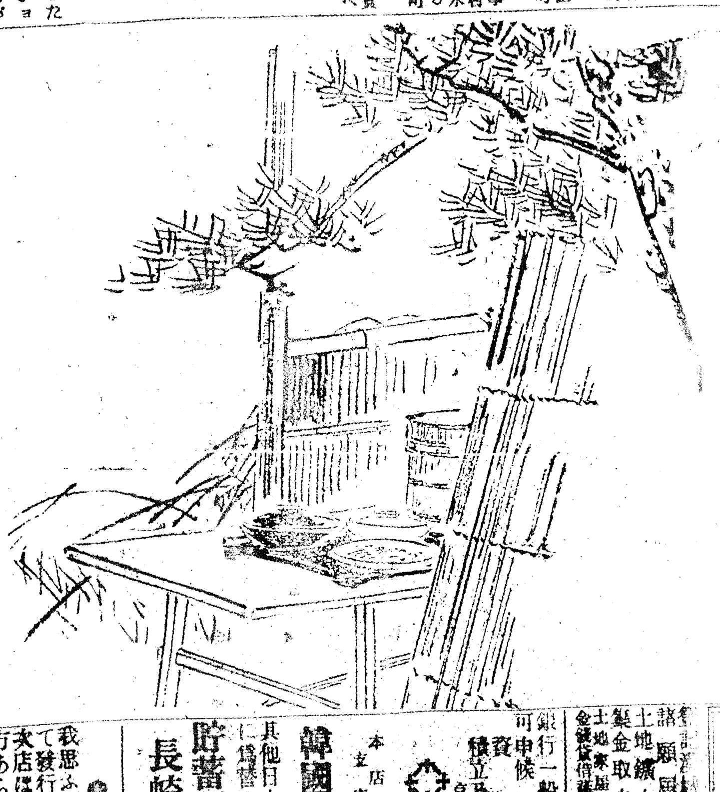
何れにしても大望成就は茲數日の中と心窃に樂み居申候

先は其後の狀況お知らせまで如此に御座候

月日　山川生

雅秋樣

と、記してある、讀み了つた長次郎は思はず太息を洩した、倩長次郎は此書面を如何致すであらう、



京城新報

排日思想と日米の關係（三）

教育會に於る本社長峯岸の講演

諸君、日清戰役當時は米國在留の日本人は僅々二万有餘人であつた、其在留者の大部分はカリフォルニヤ州である、其後漸次日本の移住民は增加したが增加したのは單に日本人のみでない、愛蘭土人も獨逸人も露西亞人も諾威人も增加したのである、然れ最も日本移民の激增を來たしたのは米西戰爭の折り布哇群島が米國に合併せられたる結果布哇に居る日本人が米國本土に轉住するもの續出したのである、何故に斯る結果[illegible]航するに種々面倒なる手續を要したる爲に其渡航を遮斷して居つたが布哇が米國の領土となるに及で布哇より轉航するに於ては何等の面倒なき爲に續々轉住したのである日本より行くものは布哇を經由すれば此面倒の手續を要せざる爲に皆此方法を取つたのである、斯て忽ち六万有餘の日本人は米國に移住したのである、其等の日本人はオレゴン、ワシントン其他の各地に散在したるものもありしが多くは皆カリフォルニヤ州に集在したのである、而して此等渡航者の多くは中國其他の勞働者なる故に其生活の狀態は前にも述べたる如く不潔不衛生を極め益々米人を嫌惡せしめ排日思想を高めたのである、考れば米人をして嫌惡の情を起さしめるのも強ち無理とは思へない、當時横濱神戸邊でも布哇或は桑港より歸來の者と云へば甚だ輕蔑したものである、カリフォルニヤや布哇より歸りし者と云へば直に無智文盲の勞働者と見做したのである、夫れも其筈[illegible]東京も大阪も西京も知らず只數年稼ぎ溜めたる金にて異樣の洋服を買ひ之を着用して意氣揚々として歸て來る、其打裝は一見噴飯せしむるの價がある、故に審からぬ旅館の爲に不當の金を捲き上げられたことがある、當時洋行歸りの持てた時代でさへ斯の如くである、此等の輩が彼の地で日本に居ると同樣の生活をするのであるから米人が驚いたのも無理はない、日本でも中流以上の生活ならば斯る事はないが最も下層の勞働者なれば米國人の生活に比すれば非常の差である、彼等勞働者が[illegible]は臭きもの汚穢なるものを態と見せた譯ではない彼等が日本に於ける生活を其儘見せたに過ぎぬのである、米人が之を見て不潔不道德の樣に見たのは不思議でない、米人が見て不道德の生活とするのは總てが不風意であると云ふ事を意味するのである、酒を飲で酔ふにも賭博をするにも喧嘩をするにも大抵世間を憚つてする、日本勞働者は之を開放的に演じて憚らぬ、米人等は隠微の間に處して他に知らさぬやうにする、之が即ち東洋的と西洋的の差である、斯る次第なれば從て警察事項も多い、流行病があつても之が豫防に注意せざると云ふやうに萬事が未開野蠻人の如くに米人の目に映じたのである、斯ることも米人をして排日思想を昂進せしめた一の原因である。

諸君、今は布哇にもカリフォルニヤにも日本人の多く住で居る所には日本の小學校が出來て居る、勅語を朗讀せしめ日本の教科書に依りて全然日本的の教育をして居る、駐在領事は頻に之を獎勵しつゝある、併し之は喜ぶべき事であらうか、自分は全く之には反對である、八年以前自分が布哇に居りしとき日本人會本願寺日本のキリスト教會等が發起して布哇在留邦人の子弟を教育[illegible]にも贊成せよとの事であつた、自分は平生の主張により斷然拒絶して曰く、諸君は此土地を何れの領土と思ふや、若しも日本人が米國風に同化しないと云ふことが排斥される一の原因であるならば隠れて別に日本的の教育をすると云ふことは米國人の感情を害することである、公立學校にも通はして歸てから亦日本的の教育を受ける杯とは兒童の腦髓に堪へぬことである、米國領土に生れたるものは米國の市民權を與へると云ふ事は米國に同化させようと云ふ主意である、全体米國は此主意に依り各國の移民を同化して今日になつたのである、斯る土地に住で居て秘かに日本的學校を設けて同化させぬやうにするのは自ら排斥を招くと同樣である、試に若しも米國人にして日本に於て學校を設けて共和政治的の教育をなすならば日本人は何と感ずるであらう、夫れと同一で此共和政治の國に來て勅語を主として帝政的の教育をするに就て米人が不快に感ずるは當然である、米國人は今に尚日本人を弟分の取扱をして居る、總て米國の眞似をして發達したものである樣に思ふて居る、所が中々日本移民が同化しないので或は飼犬に嚙まれる樣な事もなきかとの懸念も生じたのである、斯る感情のある處へ日本的教育を隠れてする杯は甚だ宜しくないと云ふた、けれども自分の主張は終に容れられず學校は漸次設けらるゝことになつたが、此等も排日思想を起させた原因の一である。

諸君、米國は五十年前に於て日本の鎖國を開いた恩人であると云ふ、彼等も亦先進國として教導したる如く云ふて居る、或は其意味もあつたであらう、併し其眞意は亞細亞の貿易權を掌るに於て日本を停車場とする必要があつたからである、此必要ある間は日本に親交の意を表するのである、併し今に尚此必要があらうか、太平洋の海上權を支配すると云ふことは日米間の懸案問題である、日米將來の關係に就ては之を考ふるの必要がある（未完）

東京電報

▲排日問題の質問　今日衆議院にて小村外相の外交演說あり加州排日事件に付き議員よりの質問續出し外相答辨に窮し答辨の限りに非ずと逃げ議場擾騷す

▲自由港廢止　浦盬自由港廢止案一月二十九日裁可せられたり（以上二日發）

▲十二師團長渡韓　喜多十二師團長は韓國へ差遣さる（三日東京發）

雜報

●韓皇の還幸　韓皇には[illegible]道日韓民の熱誠なる奉送を受けつゝ三時三十五分無事南大門驛に着車あらせられたり之より先き御召列車南大門に着せらるゝや民側よりは數發の煙花を打ち上げ奉迎人は山の如く各次官高等官民團議員商業會議所議員有志者日韓各學校生徒團体等何れも停車場附近に整列し靜肅に奉迎し其の盛觀宛かも御出發の時と異ならざらき斯て韓皇にはプラットホームに步を移さるゝや伊藤統監各大臣其の他供奉員一同續いて下車せられ韓皇には一々奉迎人に會釋せられ後宮廷より差し回はされし御料の馬車に召させられ南大門通りを鹵簿蕭々として奉迎人歡呼の裡に目出度還幸あらせられたり

●地方費徵收と機關　今回創始せらるゝ地方費の徵收事務に關し度支部は國稅と同じく國稅徵收法に準じ財務署をして取扱はしむるの意見を有し地方官廳は從來の慣習上郡守をして取扱はしむるを實際に便宜とし内部度支部間に交涉中の由なるが不日圓滿に解決すべしと云ふ

●韓國土地調査　韓國全土の土地を調査する事は日本の地租改正と同じく實に韓國の一大事業にして度支部にては既に成案の脫稿したるものあり既報の如く新借款の金を使用し凡そ七八年の事業として着手すべき筈なるが伊藤統監も近々退京の筈なれば退京前確定する筈なりと云ふ

●伊藤統監歸朝　伊藤統監は昆き邊の御召により韓皇還幸後政務の處理を行ひ遲くも來十日迄には歸朝し大磯滄浪閣に入り數日間休養の上十五日頃入京する筈なりと

●船舶事務主管　韓國政府は今回船舶法を制定發布するため目下草案に就き研究中なる事は既報の如くなるが現行官制上水上運輸に關する事務は農商工部の主管なるも同部には船舶に關する技術官及び沿岸に同部所に屬する機關を有せず去りとて日本に準じて管船局を新設する事は目下の財政上困難に就き從來實際に船舶に關する事務を取扱ひつゝある關稅局をして此れを主管せしむるを以て實際の便宜とするを以て今回の船舶法發布と共に度支部關稅局農商工部商工局の官制を改正し水上運輸に關する事務は度支部の主管に移屬する事となるべしと云ふ

●種苗場新設箇所決定　農商工部が本年新設する五箇所の種苗場中二箇所は海州（黃海道）鏡城（咸北道）に内定したる事は既報の如くなるが殘り三箇所は種々調査の結果光州（全南道）全州（全北道）義州（平安道）に内定したりと云ふ共に遠からず官報を以て告示さるべし

●郡守收入印紙分賣　度支部にては[illegible]收入印紙の分賣を郡守をして取扱はしむる意あり目下内部と交涉中なりといふ

●各高等官の御陪食　日韓双方の各高等官は韓皇歸還に付昨夕昌德宮にて御陪食仰せ付けられたり

●行幸と道路修繕　西韓行幸に就き新義州、義州間の道路約四里半を修築したる旨は既報の如くなるが今之れに要したる治道勞力を聞くに新義州より義州に向ふ三里迄は道路平坦なるを以て容易に修繕し得たるも向ふ一里半は勾配最も甚しきにより迂回して平坦地に新たに道路を作りたる次第なれば其の治道に要したる經費は實に多大にして勞力も亦一日平均一千五百人の人夫を徵發して七日間を費したりと

●内部警察官增員　内部警察局に於て本年度中に增員すべき警察官は警部日人十人、韓人五人、巡査日人百三十七人、韓人三十人にして警部は巡査部長中より試驗して採用し巡査は嘗て内地に在りて其の職にありたる者豫後備軍人及び其他の者より試驗の後教習所に入れて巡査に採用する筈なりと

●東萊離宮問題消息　東萊府に離宮の御治定を懇請し奉らんとは殆んど東萊府管下に居住する日韓官民の一致したる希望なるが右に就き金府尹は其筋に向つて意見の開申を爲す筈にて既に一篇の建言書を起草したりと云ふ

●小作米徵收の成績　昨年十二月以來木浦警察署管内に於ける農事經營者の小作米徵收方に關し各方面に巡査を派し其の經營者を保護したる由なるが例年に比し至る處好成績にして暴徒の出沒多き海南郡の如きは小作人等が時々或は暴徒の脅迫を受けたために豫定の納入期に遲くるゝ等の場合ありと雖も缺損少く且つ取立人等の手段穩當なるより小作韓人等は從順に其の義務を履行し今や其の九分通りを取立つるを得るに至り各營業者は大に滿足の意を表し居れり而して經營者中重なるものゝ徵收高槪算左の如し

韓國實業株式會社木浦支店	徵收高	籾	四千三百四十九俵
同		綿	貳万餘磅
韓國興業株式會社木浦出張所	徵收高	籾	三百石
同		綿	四萬三千斤
務安郡鶴嶠居　高力喜代太郎	徵收高	籾	四百四十八俵

●日高勅使の用向　一昨夜入城したる日高勅使來韓の用向は韓皇の巡幸に關する地方民心の狀況調査の爲めにして南韓に於ける情況は既に調査を終へたりと云ふ

●朴泳孝歸城せず　濟州島に在る朴泳孝が近々歸京す云々といふ噂ありしが朴は目下同島に於て柑橘園の經營に熱中しつゝあれば當分歸城せざるべしと

●水產會社重役會　水產會社重役會は卅一日午前十一時より釜山同事務所に開會社長の互選を行ひたるに前社長矢橋寬一郎に當撰就任することゝなりたるが手當金の增額は同社長より社運の進捗に鑑み之れを辭退し前任中手當金にて就任することに決定し此他二三重要要件を終へて正午閉會せり

●中島少佐の出發　元軍司令部參謀步兵少佐中島鐵之助氏は步兵四十七聯隊（小倉）附を命せられ六日午前八時五十分南大門發赴任せらるべし

●度支部囑託の任命　東京府中學校教授たりし尾石剛毅氏は今回度支部國有財產整理局事務囑託（奏任官待遇）を命せられたり

●韓國現今の警察力　内部警務局の昨年末調査に依れば全韓國に駐在する巡査數は日本人一千二百四十四人韓人二千〇二十五人合計三千二百六十九人にして今之れを各道の人口に對する步合を示せば日人巡査一人に對し六千九百七十四人、韓人巡査一人に對し四千二百八十二人日韓人巡査を合せて一人に對し二千五百五十七人なりと云ふ

●韓國の普通學校　韓國に於ける官公立普通學校數は京畿道甲種六、乙種一一、忠南甲四、乙一、忠北甲二、乙一、慶南甲五、乙一、慶北甲五、全南甲五、乙一、全北甲四、江原甲三、乙五、黃海甲二、乙四、平南甲三、乙二、一北甲四、乙三、咸南甲三、乙八、咸北甲四、乙平及び京城官立普通學校九なり

●鎭南浦石油發賣高　同地に於て消費するもの及び各地方に輸送する石油は每年[illegible]萬函位なりと云ふ尤も米國石油會社にして直接當地に汽船を廻して輸入し來るに於ては僅に二三萬函は販路を擴張し得べきも目下の處仁川より再輸入するものは價格等に於ても[illegible]地方と競爭する能はず自然手控への有樣なりと云ふ

●一月中の屠殺數　京城屠殺場一月中の屠殺類牛六十七豚三百七羊二なり

●山本殉職巡査葬式　去る二日午前三時西小門外に於て兇賊と格鬪し其の結果拳銃を以て射殺され職務の爲めに倒されたる警視廳詰刑事巡査山本雅夫氏の葬式は明五日午後一時南山本願寺に於て執行する由

●陪從通信（第四信）

▲太皇帝の慰問　太皇帝には去る一日侍從吳一泳を平壤に派し伊藤統監に慰問の辭を寄せられたり

朔風凛烈たる沍寒の候遠路の旅行に當り始終誠を竭し皇帝を保護せらるゝは衷心感謝の辭なし不日卿の歸京を俟て親しく謝意を述べんとす

右に對して統監は左の如き答辭を申上たり

今回の旅行に當り曩には副總管朴齊彬氏を新義州に今又侍從吳一泳氏を使者として平壤に派せらる深く感謝に堪へず歸京の上謁を請ひ親しく謝辭を奏せんとす

▲[illegible]　行幸前開城府内に暴徒の巨魁二名入り込みたりとの風說ありしを以て其の筋にては百方手を分け嚴探せし所去月三十日開城の東方約一里許りの鐵道沿線に於て一名の胡亂者を發見せしかば早速引き捕へ嚴重なる訊問を試みしに果せる哉此の者は江華島暴徒の巨魁（大隊長）たりし池洪一なることを確めたるに依り開城署に引致せし由なるが當時同人は鋸、斧、等を携帶し居りし所より察すれば或は鐵道線路を破壞せんと企てたるものにあらずやとの說あり

▲統監の演說　去る二日開城に於ける日韓官民の催に係る統監歡迎會席上に於て統監の試みられたる演說の要旨左の如し

日韓兩國人共同して此の宴を張られ韓國皇帝陛下今將に北韓巡幸を終り明日を以て還幸あらせらるゝに際し諸君が風雪を奉迎すると共に我等陪從一行を迎ふ以て慰勞せらるゝの好意は深く感謝する所なり抑々今春韓皇陛下が嚴寒を冒して南北に巡幸あらせらるゝは蓋し諸君が其の意の在る所を能く了解せらるゝことなるを信ず皇帝の今日の韓國の狀態を以て尙は安ん[illegible]に非ずと云ふ[illegible]に出でゝ國民を振起せしめ而して國力の隆昌を來さんとせらるゝに外ならず此の意は言論を俟たずして韓國民たると日本人たるとを問はず業に已に瞭然たるものあるを信ずるを以て敢て重複して之を述ぶるの必要なし予は韓皇の請ひに從ひ普く汽車の通ずるところ南北に亘り時間の許す限り我耳目の及ぶ所を極めて山河の形勢を見人民生活の狀態を察し、深く心に感ずる所のものは益々進んで我が日本が韓國を保護せざるべからずとの觀念を深くせしこと也、縱令韓國民我が日本の保護に嫌厭たるものあるも我が日本は東洋樞要の地たる韓國の衰微するを放任して遊觀するを得ず、韓國十三道に亘りその地域甚だ廣しと云ふを得ずと雖も猶は八万方里の廣袤を有しその地位たる我日本帝國と僅に一葦帶水を隔てゝ相對し而して此の海峽は兩國安危存亡のかゝる所也韓國の力微弱なるは即ち日本國の國運に對して偉大なる關係を有す故に予は遠からず貴國を去りて日本に歸り親しく韓國最近の狀況を我　天皇陛下に奏上し日本國が益々勇往邁進して韓國に保護を加ふるの厚か

公人私人

▲日高内大臣秘書官　一昨夜入京天眞樓に投宿

▲辯護士村田繼述　二日大阪へ歸國

▲牛澤通信事務官補　二日仁川へ出發

●近事片々

▲大隈伯亦や長廣舌を弄し伊公の對韓策を贊美す此間の消息は知る人ぞ知れるのみ

▲隈伯の舌鋒は時々變化す之を眞面目に受けるは些と感服仕らぬ蓋し底も蓋もあり

▲伊公の懷柔手段を以て可となすとは何ぞを押しての音ぞ事實斯く思はゞ是れ實評

▲強硬手段は一時的奏効あれども永久的には不可也と之れ韓國人を知らざるの言也

▲歐人は壓ながらにして名所を知ると云ふ隈伯の言も餘り當てにはならぬ事でムる

▲隈伯の放言に雄するは感心すれども時々知つたか振りの獻辨には呆れざるを得す

▲桂内閣所謂山縣系に對する事より能く伊公に流眄を送る事あり最早色氣は捨る事

▲唯惜むは隈伯は明治の巨人として其說海外にも重せらるゝ故に影響する所頗る大也

▲之を思へば隈伯たるもの愼重の態度を採らざる可らず知つた振りは眞平御免に候

▲伊公の對韓政策には既に世の定論あり隈伯の舌鋒と雖も公論には敵する能はず矣

▲今更懷柔策を贊美するは餘りに迂遠也

▲幾度失敗を繰返したならば滿足をするにや

▲排日新聞の發賣禁止さるゝもの頻々何とか外に根本的に之を取締るの方法なき乎

▲ベツセル氏又英字新聞を刊行す保護政廳は深く此取締に就て研究するの要ある也

▲若し此儘に發賣禁止に止らしめば決して其害毒を減する能はず嚴然たる取締肝要

▲宋氏魚某の喧嘩は大分花を咲かした樣だ其余波未だ靜まらず今後の形勢抑も如何

▲活劇の模樣を聞くに宋氏が余りに謹愼を缺ざたるの趣あり此結末は如何に付く乎

▲謹愼を缺げる結果とすれば國務大臣たる宋氏の行爲は宜しく嚴正に質すべきなり

▲西園寺桂兩者の妥協に依りて多數黨も何だかダンユヤリ何れ黃色には有付くべし

▲田中宮相引責問題により後釜運動激甚也伊東巳代次渡邊杢吾杯は其重なる者也と

廢止は調査の上決定せんと決議せり

▲新議員[illegible]兩總理

●鐵道運輸收入　一月取扱たる運輸收入

●晉州の物品評價　晉州にては近々同

●韓國倉庫會社總會　韓國倉庫株式會社

政友會議員五十六名は昨夜紅葉館に會し…を訪ひ前夜の決議を述べしが兩總理には輿望に副ふべしと答へたり(以上三日發)



●宋魚格闘の眞相(一)

▲宋泥酔して女官室を襲ふ▲勅使負傷す▲

▲宋秉畯の酒癖

朝鮮式の供酒

被る必要もなく酔拂ひ附近の人を

奉

▲女官室を襲ふ

助平

の一隅なる女官室に立入りたり

不體

▲傲慢なる態度

穩

▲宋の負傷

胸倉を取るが手許狂ひて魚潭の胸間にキラメク八卦章を擱みたれば忽ち指頭負傷し鮮血淋漓逆るにぞ並び居る一同大に驚き總

立となりたるが、アワヤと見る間に宋が腰間の一刀は電光の如く閃めき…たるぞ奇怪なり

の方は何うしたことか未だに其儘となり居れりと朝鮮鴉が騒ぐ森で盛に噂して居たとやら慌だしげなるヨボの注進

●巡査殺しの後聞

▲支那人外出止 曩に本町を荒したる短銃強盗が支那人に扮装し居たりと云ひ又今回も被害者が支那人で手段も略ぼ相似たる點より一般に支那人に注意を惹き居れるが其れかあらぬか支那領事館にては一昨夜以來同國人に限り夜中十二時以後の外出を禁じ居れりと

▲義捐の數々 當地各新聞社が擧つて義捐金を募集したるは既報の通りなるが續々市民は續々義捐の申込みをなしつゝあるが南山町四丁目葬具屋左文字屋事田邊三郎氏は山本巡査の葬儀一切に關する諸道具を無料にて貸與仕度き旨を申出たりと奇特と云ふ可し

▲葬儀執行日取 故山本巡査の葬儀は來る五日午後一時南山本願寺に於て執行することに決定したるが定めて盛儀なるべし

▲永樂亭の慈善興行 三遊亭遊七等の主唱にて明夜一日間赤門前永樂亭に於て左の通り興行を爲し一人前二十五錢均一として其揚高全部を山本巡査遺族に贈與する筈なり尚は同亭は引續き三日間二十五錢均一にて興行を繼續すると云ふ

落語(遊七)新講談(赤團)浄瑠璃(梅奕)同(大之助)新講談(倭吾樓)落語(七助)

●朝鮮式妾氣質

▲大官連の妾の淫奔

韓皇南韓巡狩中の事なりとか宮内府大臣閔丙奭氏の愛妾翡翠と云へるは主人閔氏の…經使尹甲炳氏の愛妾某と云へると懇親の間柄なるより毎夜の如く之れを誘ひ出し中署寺洞なる演興社に芝居見物と洒落込み居る内元が兩女ども浮氣稼業の妓生上りのことゝて何時しか同社の唱夫四人(日本の芝居で云へば義太夫語りの如き者)の何れ劣らぬ乙な怒鳴り振りに打ち込み何れ捨て難き風情あればイッソ誰れ彼れと云ふよりは…四人の唱夫を可愛…相談を取り極め…はしかけて夫れと彼等に持ち掛けたるに何が扨て下地は好きなり御意はよしまして況んや金は有り女は美し世間の定規など憚り李、鄭、宋(唱夫)の四人は一議に及ばず據へたる膳に箸取りたる夫れより後は閔、尹兩氏の愛妾どもはマタヽビ貼めた猫も宜しく涎を垂らし眼尻を下げ不義の淫樂に耽り居たることさ隱れたるより現はるゝはなしとか何時しか兩氏の耳に入りたるにぞ尹氏は世間の手前捨ても置けず馬稷を斬つた孔明擬き涙を揮つて愛妾某を逐出したるが閔氏

百八圓二十六錢草梁三千九十圓八錢の據…一千四百十一圓四十六錢合計九千三百九圓八十錢なり

…に開會せし當時の模様及び手續等を問ひ合せ來りたりと

●逃亡藝妓捕はる 當地本町八丁目飲食店有田豊太郎方抱藝妓福岡縣産枝光生れの高橋ミチノ(二三)と云へるは昨年痘瘡に罹りて入院し抱主の盡力にて全治し歸宅後間もなく即ち九月廿六日の夜逃走したるが前借二百六七十圓及び入院料等を踏み倒したる爲め詐欺の告訴ありたれば南部署にては捜査の結果京城緑瑞興に潜伏し居るを突止め刑事巡査出張したるに此時彼れは既に風を喰つて安東縣方面へ逃走したるが去月廿二日大膽にも再び京城に舞戻りたるを一昨日長野刑事に取押へられ南部署に拘置さる

●誇大なる訴へ 仁川京町派出所に昨朝三時頃一人の韓人息も絶え〳〵入り來り只今京城通りにて大喧嘩あり死傷者二名ありと訴へたれば詰合の警官は素破一大事と取るものも取り敢へず出張し取調べたる所韓人北廟張(三六)及び金聖弼(三六)の兩名が泥醉の結果組みつ組まれつの大立廻りを演じたるまでのことゝ判明したれば説諭の上放免したりと

●津貢美記 むら

川竹や、うきふし繁き花街の、辛い勤めを苦にもせで、好かぬ客衆のお座敷に、笑ふて居るも主さんと、かうした首尾があればこそ、それに偶々逢ふた夜は、ひつ〳〵早い鐘の鐘、世間の手まへ後のため、想を思案の内にして、歸す心がヤア憎かろか

●悪漢者の横行 仁川花町二丁目居…仁川にても多少の名を知られたる博徒にて常に二三の乾分を養ひ居れる程なるが近來重太郎の素行は收まらず毎日短銃を懐中にし良家に入りて脅迫がましき事あるを以て仁川警察署よりは一昨日右重太郎の短銃を押收したりと

●偽刑事の拘留 昨紙掲載せし刑事と偽り長谷川町閑月亭に至り室内を捜索したる不敵漢富邪城光太郎(六十)は昨日南部署にて拘留五日に處せられたり

●仁川のボヤ二件 仁川香洞李昌志方より一昨日午後四時頃出火しアレヨ〳〵と見る間に家根に燃え移りたるも日中のことなりしかば八寄頭る能く大事に至らざる前に消し止めたるが又之れと同時頃濱町一丁目薪炭商尹致化方の納屋よりも出火したるが之れも大事に至らずして消し止めたりと云ふ

●登樓客の亂暴 徳島縣生れの秋岡岩吉(三八)と云へるは昨三日午前三時頃當地大和町一丁目飲食店獨吉寛造方に登樓し飲酒酩酊の上亂暴を働きたる爲め巡査出張南部署に引致さる

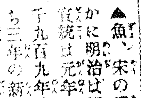
●法務院の公判 來る五日法務院公判開

●七代目芳村伊三郎(五)

▲藝術修業の困難

▲三枚目に昇進 明治四年僅か桂次郎十七歳の時、三枚目彈きに昇進した此時の狂言は勸進帳で河原崎權之助が辨慶を勤め左團次が初めて富樫を勤めたのが、あさか助六で仲藏の意休、權之助の助六、半四郎の揚卷、三津五郎の白玉、歌若の白酒屋、松本金昇の蕎麥屋であつた此時の稽古中丁度桂次郎宅は火災に罹かつて淺草から父と二人で駈け出したがモー丸燒となつて居たそうだ。

▲新富町に移る 此歳の暮れ從來の森田屋が初めて新富町に引けた此舞臺開きの出し物一番目が太閤記で成田屋の齋藤内藏之助及び秀吉で中幕の燒香場は仲藏の勝家、左團次の佐久間、訥升の犬千代であつた、此芝居で秀吉が勝家の足を揉む處がある、是れが成田屋の書卸であつた、又二番目…で半四郎のお富に坊主與三と云ふ玄冶店の作り替へで…であつた、其翌年は左團次、芝翫、左團次、歌若、嵐璃三郎、三津五郎等であつたが、此時は團十郎や仲藏…郎は矢張り此三枚目を彈ひた又其翌年は菊五郎が加はつて野晒五助を出し彥三郎の浮世戸平、芝翫の法華長兵衛で中々の好景氣であつた。


▲平民文庫▶

▲魚、宋の爭鬪は確かに明治は四十二年、寶貌は元年、西暦は一千九百九年隆熙は即ち三年の新春の第一頁を飾る一大活劇にして更に一大悲劇である(歴史家)▲明治町一丁目雜貨店○○商店の女將さんは非常に口が多いだから仙十郎大將と毎日三度位づゝ犬も食はない喧嘩をする(買物人)▲是非賴生の今察君に對する注文は大賛成(好劇家總代)▲次回の歌留多會は何時ですか(伺度女)▲貞洞邊りに素人家で下宿をさせて下さる所はありますまいか(探宿男)▲仲居上りの奴妻と云ふ記事は誰れかの中傷でしようと思ふ私の知つて居る所ではア、云ふことは萬無い

さ信し升が(本願寺の雀)▲然らば結構(給仕)▲京城に於ける素人の名手の對局を順を追ふて揭載して下さいませんか(好碁老人)▲食ひたい生に答ふ 餘は日本側にも朝鮮人側にも好く買つて居る様です毎日でも買つて御食べなさい(御通知生)▲常に不平を耳にする京城の電車は不潔なる上に行違點に待たさるゝのは恐らく世界に比なからん日本人側に電鐵輕鐵何れか敷設し朝鮮式の電車と競爭しては如何(世話好小僧)▲諸君大に投函したまへ此平民文庫は吾等平民の樂園たり。餘り氣焔を吐いて濟みません(入庫の蚊士)▲龍山停車場は不完全なものである待合所に行く迄の間隨分遠距離である…なければ不可ない(木尾生郎)

し當期利益は株主に配當せずして繰越すと決定し且資本金は從來の三百萬圓を五十萬…

…二百人小手荷物三千四十五個…五八人小手荷物二千三百八十個なり

●義捐金募集

今回警視廳巡査山本雅夫氏が兇賊の爲め非業の死を遂げられたるは職務の爲めとは言ひながら誠に同情に堪へざるものあれば吾々同業者は茲に義捐金を募集し氏の遺族に送ることとしたれば同情の諸君は左記何れの社にても差支なきを以て續々申込みありたし

一 義捐金申込は一口十錢以上とす
一 締切は本月十五日限り
一 領收證の替りに新聞に揭載す
一 義捐金は警視廳の手を經て遺族に贈與す

二月二日

京城日報社
大韓日報社
朝鮮日々新聞社
京城新報社

故山本巡査弔慰金義捐者

一 金一圓也 壽座内 坂本女
一 金五十錢也 吉原佐治太君
一 金五十錢也 中村引君
一 金五十錢也 社内 無名氏
一 金一圓也 社内 無名氏
計 金四圓五拾錢也

●天氣豫報(自三日午後六時至四日午後六時)

北東の風曇

二日 最高温度 四三、二 最低温度 (華氏) 四一、一

三日午前六時各地氣象概況 一般に北風吹き中部以北は概ね曇天にして城津に降雪し南部は晴天なれとも今朝九州南西部に出現せし低氣壓は漸次東北に進行せんとするを以て天候次第に變化するならん、

▲無料紹介欄▼

人事部

求事業家 確實なる事業にて年十割以上の純益あり金五百圓以上出資し得る人を求む 旭町一の六十 京仁商會(一六三)

求妻 知人年三十五歳品行方正身体健全月收百圓餘三十前後にして普通教育ある婦人を望む 旭町一の六十 川村(一六四)

韓語速成教授 本町六丁目六五韓語速成講習所(一六五)

物件部

貸家 龍山停車場前十五間道路筋新築表口三間奥行四間瓦葺二階家疊建具一切付用水の便あり龍山停車場前 電話四九島田(一四五)

貸間 二階八疊及び十疊何れも床付き紳士向き食事付き又はなし 龍山停車場前 電話四九島田(一四六)

貸家 龍山漢江通り三丁目十五間道路一等地所にて間口三間奥二階付 京城明治町一丁目 ゑり徳(一五〇)

歯科醫學講義録第八巻迄分四部格安御讓り申したし 姓名在社(一五二)

商店 向貸家但半家造作付間口三間店土間五坪六疊 室豪容地十五坪家賃二十三圓 永樂町二赤門前 岡(一五六)

土地 南山町二丁目南山麓眺望絶佳約三百坪割貸又は賣却何れ共御相談に應す 永樂町二丁目 岡内(一五七)

測量用「トランシット」一脚附一臺 一十二磅軽便レール四十七チャイン 右賣却したし御入用の方は下名へ 南山町一澤田舘 小谷(一五八)

貸家 二階建新築家屋上六疊三疊下三疊六疊敷温突付外押入れ所臺所あり疊建具一切完備床及び間付紳士に向適當なり 南山町一丁目澤島 三吉電話八三五(一五九)

貸間 二階六疊二間床間押入付 至急貸したし 本町五 月の家(一六〇)

雜貨 見切品見世仕舞品及諸道具其他不用品何でも高價買入れます 旭町一丁目 旭町競賣所(一六二)

廣告

會席御料理



本町八丁目 **富士見樓**

▲清潔の下宿▼

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戸横小路(元花屋跡) **かめ屋**

▲懇切の下宿▼

(京城) 本町 ... 賣物 陶器 ... 場

▲**轉宅荷物運搬**

一京龍間建築土木材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負

弊店儀今般右の營業を開始仕候に付ては貨物の多少又は土地の遠近に拘はらず御報知次第直ちに店員を派出して御用命に應じ可申尚は弊店は責任を重んじ万一御委託物に對し店員の不注意より損害を加へ候節は弊店に於て其**賠償の責に任**じ決して御損失は相掛申間敷候間續々御用被仰付度此段謹告候也

京城南大門通り二丁目二十番戸三浦商店向側

店主 有田豐太郎

有田運送店

今般左記の所に移轉す

移轉御披露

永樂町貳丁目(赤門通り本町より五軒目)

東京塚原支店 **洋服商 原雄吉**

●**土耳古金口莨直輸入**●

G D S

ジーデーシエリス

·GDSIERLIS & SONS·

SAMOS (TURKEY)

ジーデーシエリス會社

出張所 明治町二丁目 エムジーシエリス

●**韓國特約販賣店**●

京城黄金町 **井出商店** 電話一九〇番

釜山本町 **内山米太郎** 電話一〇七番

平壤大和町 **佐藤商店**

明治廿年創立資本金一千萬圓

日本國火災保險業の鼻矢

東京火災保險株式會社

代辨店 山口呉服店

事務所 京城本町二の三 電話九番

諸官衙用御品調達

營業科目

紙類書籍 印刷附屬品 印刷インキ 防腐デシン 穀物食鹽 織物染料

各學校用品調達

并に

委托販賣

東京 合資會社アライアンス商會代理店

横濱 百七番 ヒユームエンドライフ商會代理店

東京 千代田生命保險相互會社代理店

東京 博文館發行書籍特約店

京城 金港堂發行書籍特約店

釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番

出張所 東京·京橋區南鍋町一丁目 電話新橋三九六二

院長 陸軍三等軍醫正 高井貞治

入院隨意

京城壽町三丁目(元坂井病院跡)

高井醫院(電話二一六番)

高等待合 紅葉

京城南大門通三丁目 起業會社筋向

四圍頗る閑雅にして清遊に適し候

銘茶 ...

統監府御用

諸官衙人力車荷物荷造及運搬

伊藤組

營業 京城曙町(電話七三番)

本店 同本町三丁目(電話四〇番)

三二館

焦心單志多年易斯道經驗於微致奥旨恍然似有得者匪敢誇信洋辯論開易(?)...

易斷觀相教授 京城本町五丁目

通信判斷一件一圓 特別二圓

青々園

風味趣味價格...す

正銘宇治茶京都の茶器

故に尤も進物用に適當なり

茶及茶器商 京城本町四丁目 **青々園茶舗**

西洋料理

東京高輪壽し

會席料理

丼類いろく

折詰辨當

同サンドーウヰツチ

南大門停車場構内 エーテー淵田 電話六八七番

株式會社第一銀行韓國總支店

電話番號

長第一番 國庫部、發行部、營業課、當直用

第二番 國庫部、發行部、營業課用

第三番 支配人、調査部、文書課用

第六一番 用度係、分析所用

第三二番 臨時建築部用

本店 東京市日本橋區兜町

内地支店 大阪、神戸、名古屋、四日市、下關

出張所 京都、横濱、大阪西區、東京新大阪町

韓國支店 京城、仁川、木浦、群山、元山、鎮南浦、釜山、平壤、城津、咸興、馬山、鏡城、開城、大邱

出張所 伏見、兵庫

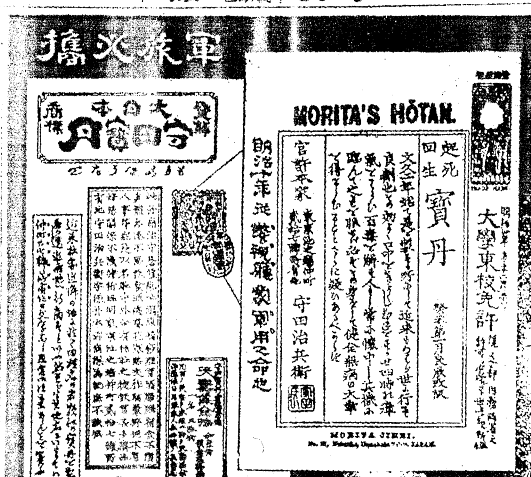
清國出張所 安東縣

右の外内外各地重要なる場所には爲替取引先あり營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

一ヶ月八圓の下宿

黄金町 統明館(明治町突當り)

軍隊必携 森田寳丹



代理店

新井薬房本店 京城南大門通三丁目(電話七八番)

新井薬房第一分店 京城本町八丁目

新井薬房第二分店 京城南大門外

純良 **乳**

牛乳元祖 **平山牧場**

京城大和町一丁目 電話百三十三番

特約販賣 自製

大上商店

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

和洋酒、(正宗)、精酢、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、其他各種特約販賣

尚御望に依り商品切手調進仕候

(電話二五一番)

京城 株式會社第五十八銀行

電話番號五十八

資本金三百萬圓

爲替取先組

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、伏奈良、郡山、八木、高田、岸和田、本貝塚、岸和田、...

東海道 影、兵庫、神戸、住吉、平野、吉、東京、横濱、千葉、大磯、甲府、靜岡、沼津、濱松、豐橋、名古屋、宇治山田、熱田、龜崎、四日市、津、桑名、大阪、

東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、多治見、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、仙台、青森、秋田、土浦、能代、

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、高岡、富山、伏木、新潟、

山陰道 ... 濱田、久手、大田、宅野、

山陽道 龍野、明石、赤穂、姫路、西大寺、敷、笠岡、庭瀬、高梁、玉島、西江原、倉山、鞆、府中、尾の道、三原、呉、宇品、廣島、岩國、中宮市、三田尻、徳山、小郡、山口、柳井、本津、平生、長府、下關、萩、岡山、

南海道 和歌山、尾の中、西條、松山、三津濱、高知、郡中、松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、讚州、本、撫養、德島、普通寺、丸龜、

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、長須、大分、湊、佐世保、唐津、伊萬里、牛津、呼子、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、

北海道 函館、小樽、札幌、

台灣 臺北、臺南、

清韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、雄州、大邱、群山、安東縣

銀行一般の業務精々便利に取扱可申候

純牛乳 ...

日本郵船株式會社

仁川出帆廣告

瀛船出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 **郡回漕會** 電話三九番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 二月十二日後三時出

●大連行 高砂丸 二月十六日後一時出

●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 二月 日前五時出

●大連行 酒田丸 二月 日正午出

●釜山出帆浦鹽行 上川丸 二月三日

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船エテ御送り可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事

●購讀料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金五十錢 ▲三ヶ月 ...

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢 ▲特號 ...

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬太郎

發行所 京城新報社 京城南大門通 電話六六三番

無烟煉炭 船舶用 燃料用 最新式

▲特色 火付善く火力剛久價格低廉

▲用途 瀛船、鑛、暖爐、竈用に適す

一 周防徳山海軍省煉炭所東隣

谷口無烟煉炭工場

京城特約店 京城本町二丁目 電話六〇三番 **巳商會** 韓國一手販賣

...日...

(京南 ... 京釜 ... 京義 ... 列車時刻表)